

漁海況情報

平成25年4月16日 第1号(通巻520号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【ケンサキイカ春漁の漁況予報】

4～6月のケンサキイカ漁は、近年の不漁傾向が続き、漁獲量は平年並みとなるでしょう。なお、本格的に獲れ始めるのは小型（胴長20cm以下）のイカが加入してくる6月後半以降になる見込みです。（*平年並み：過去5ヶ年漁獲量平均値の80～120%）



【予報の根拠】

① 資源動向

4～6月には胴長20～30cmの春季成熟群が主な漁獲対象となります。この群の漁獲量は平成9年以降顕著に減少しており（図1）、資源は低水準で横ばい状態にあります。

② 親子関係

ケンサキイカの寿命は約1年で、前年の親の漁獲量が多いと当年に漁獲される子の量も多い傾向があります。代表地区（萩、長門）における前年（4～6月）の親の漁獲量は16,933kgで、平年並み（H20～24年平均：18,325kg）でしたので、平年並みの漁が見込まれます。

③ 初漁期の漁獲量

春季成熟群の初漁となる3月の漁獲量が多いと4～6月の漁獲量も多い傾向があります。代表地区における本年3月の漁獲量は954kgで、不漁であった前年（218kg）および平年（497kg）を上回りましたが、低水準にとどまりました。

④ 近年の漁況の季節変化

近年の漁況は、1～5月に低調に推移した後、6月後半から次第に上向き、10月頃に最盛期を迎えるパターンが続いています（図2）。

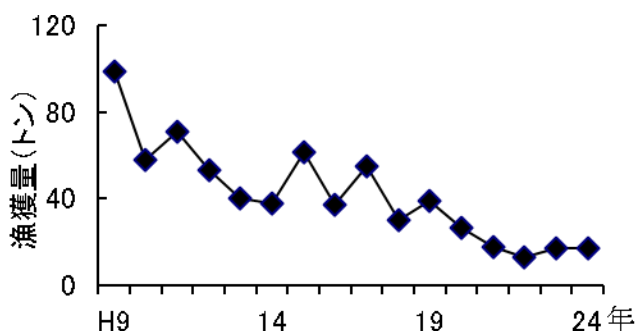


図1 代表地区における4～6月のケンサキイカ漁獲量の経年変化

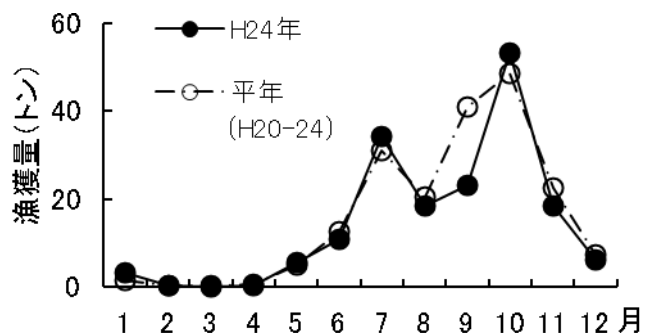


図2 代表地区におけるケンサキイカ漁獲量の経月変化